

## 2 主要業種の動向

### (1) 鉄鋼業

- ① 生産（付加価値額ウェイト981.1 生産19業種中3位）  
2020年の生産は85.7で、前年比11.8%減と2年連続の低下となった。  
これは、鉄系熱間鍛工品、ブリキ・ティンフリースチールが上昇したが、  
特殊鋼熱間圧延鋼材、粗鋼などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1071.6 出荷19業種中3位）  
2020年の出荷は82.5で、同14.0%減と3年連続の低下となった。  
これは、鋼半製品、鉄系熱間鍛工品などが上昇したが、  
特殊鋼熱間圧延鋼材、軌条・外輪などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト3458.7 在庫18業種中1位）  
2020年の在庫は88.7で、同16.2%減と3年ぶりの低下となった。  
これは、軌条・外輪、ブリキ・ティンフリースチールなどが上昇したが、  
鋼半製品、鋳鉄などが低下したことによる。

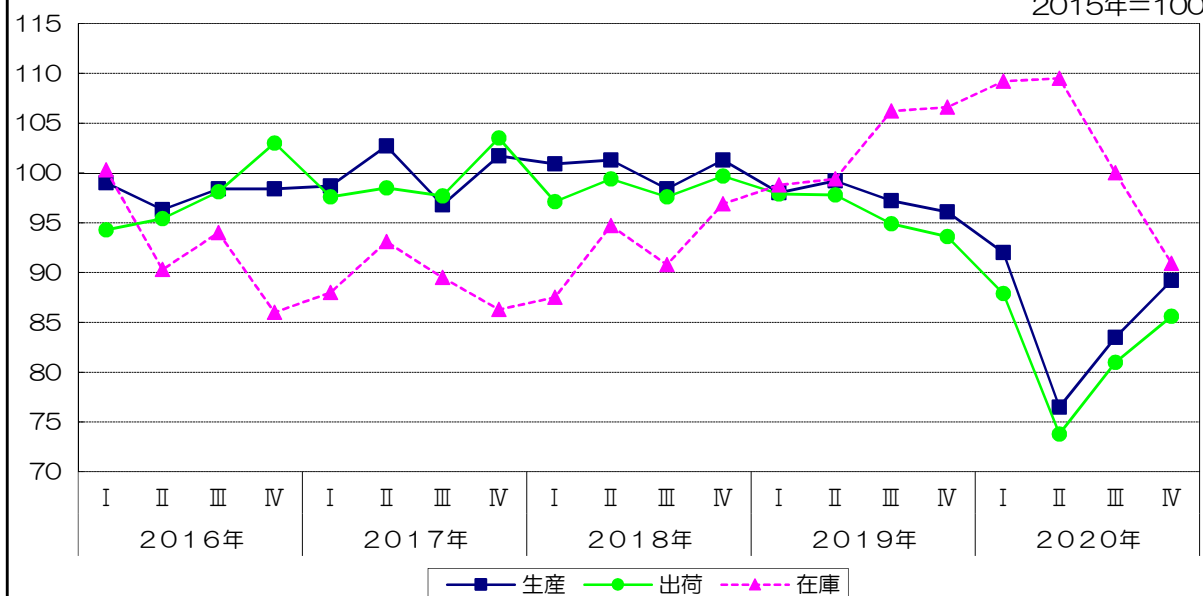
鉄鋼業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年			
						I	II	III	IV
生産	97.6	100.2	100.5	97.2	85.7	92.0	76.5	83.5	89.2
前期(年)比	▲2.4	2.7	0.3	▲3.3	▲11.8	▲4.3	▲16.8	9.2	6.8
前年同期比	-	-	-	-	-	▲3.5	▲24.8	▲14.3	▲4.3
出荷	97.6	99.4	98.6	95.9	82.5	87.9	73.8	81.0	85.6
前期(年)比	▲2.4	1.8	▲0.8	▲2.7	▲14.0	▲6.1	▲16.0	9.8	5.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲8.1	▲27.1	▲16.0	▲4.6
在庫	86.4	86.0	96.2	105.9	88.7	109.2	109.5	100.0	90.9
前期(年)比	▲12.3	▲0.5	11.9	10.1	▲16.2	2.4	0.3	▲8.7	▲9.1
前年同期比	-	-	-	-	-	10.4	13.6	▲5.3	▲16.2

鉄鋼業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



## (2) 金属製品工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト501.5 生産19業種中8位）  
2020年の生産は87.0で、前年比12.7%減と4年連続の低下となった。  
これは、ガス湯沸器などが上昇したが、  
鋼管（バンディングロールで成形したもの）、飲料用缶などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト287.3 出荷19業種中10位）  
2020年の出荷は84.4で、同13.6%減と4年連続の低下となった。  
これは、ガス湯沸器が上昇したが、  
鋼管（バンディングロールで成形したもの）、飲料用缶などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト656.3 在庫18業種中4位）  
2020年の在庫は67.5で、同10.1%減と2年連続の低下となった。  
これは、金網、スチール・ステンレス製建具などが上昇したが、  
飲料用缶、ガス湯沸器が低下したことによる。

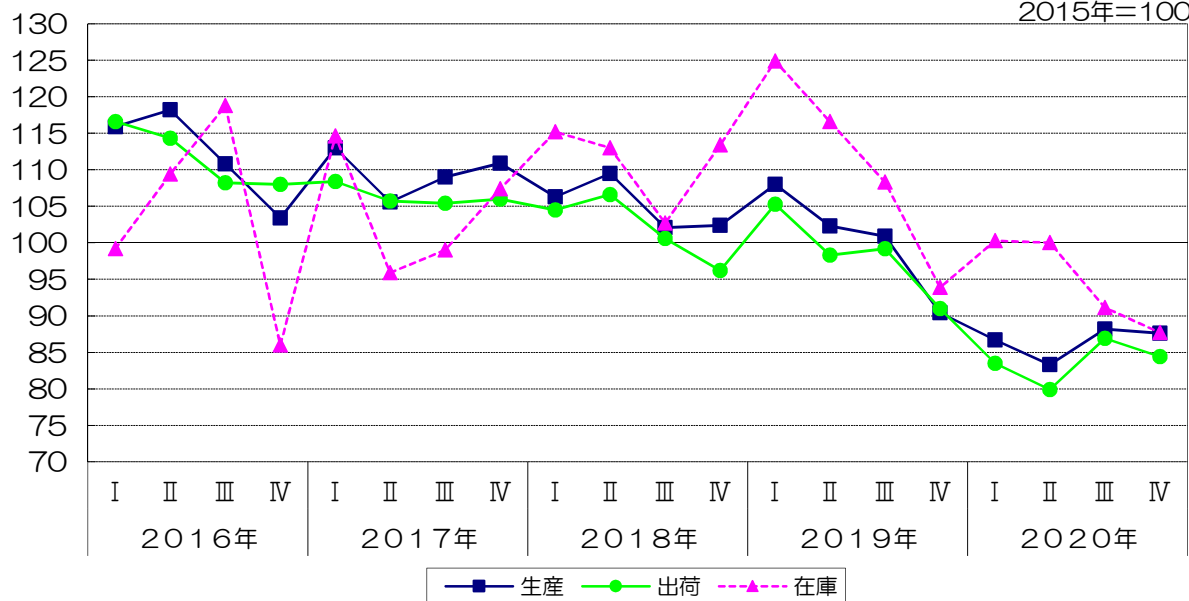
金属製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年			
						I	II	III	IV
生産	112.4	109.4	105.3	99.6	87.0	86.7	83.3	88.2	87.6
前期(年)比	12.4	▲2.7	▲3.7	▲5.4	▲12.7	▲4.1	▲3.9	5.9	▲0.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲18.9	▲18.3	▲11.2	0.3
出荷	111.9	106.2	102.0	97.7	84.4	83.5	79.9	86.9	84.4
前期(年)比	11.9	▲5.1	▲4.0	▲4.2	▲13.6	▲8.2	▲4.3	8.8	▲2.9
前年同期比	-	-	-	-	-	▲18.9	▲20.0	▲10.1	▲4.6
在庫	71.9	89.2	93.5	75.1	67.5	100.3	100.0	91.1	87.7
前期(年)比	▲13.2	24.1	4.8	▲19.7	▲10.1	6.8	▲0.3	▲8.9	▲3.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲17.4	▲11.7	▲17.0	▲10.1

金属製品工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



(3) 汎用・生産用機械工業

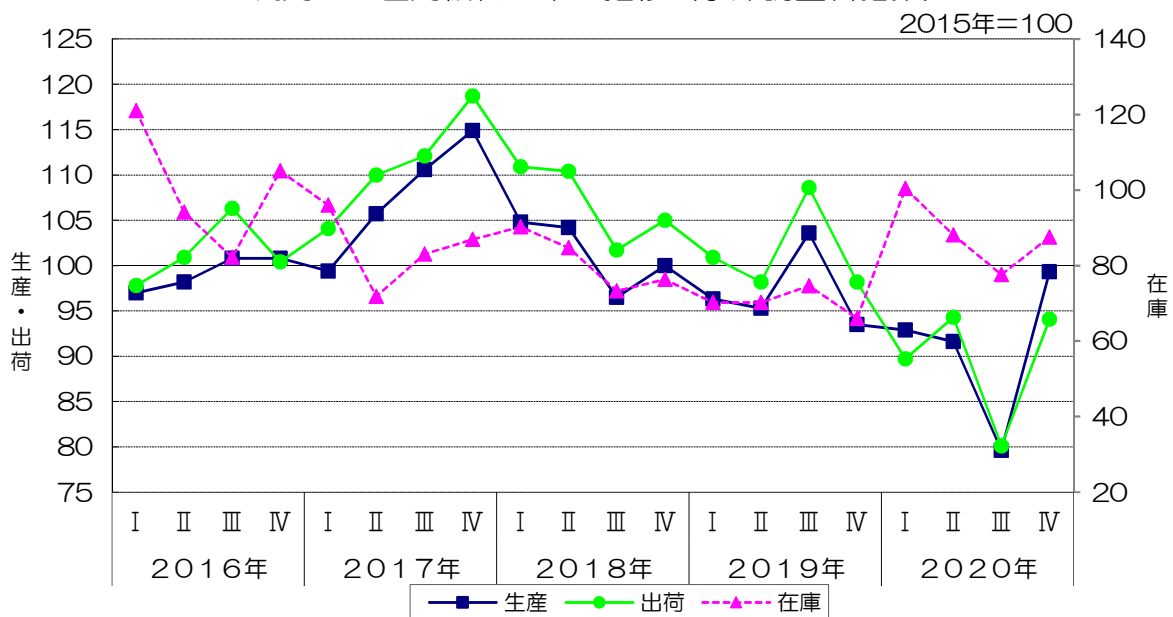
- ① 生産（付加価値額ウェイト832.1 生産19業種中4位）  
2020年の生産は90.6で、前年比6.9%減と3年連続の低下となった。  
これは、金型、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇したが、  
クレーン、バルブ・コックなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト551.1 出荷19業種中4位）  
2020年の出荷は89.1で、同12.6%減と3年連続の低下となった。  
これは、金型、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇したが、  
クレーン、ショベル系掘削機などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト592.2 在庫18業種中6位）  
2020年の在庫は90.4で、同28.2%増と5年ぶりの上昇となった。  
これは、冷凍・空調用冷却塔、ダイヤモンド工具が低下したが、  
ショベル系掘削機などが上昇したことによる。

汎用・生産用機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年			
						I	II	III	IV
生産	99.4	107.6	101.3	97.3	90.6	92.9	91.6	79.6	99.3
前期(年)比	▲0.6	8.2	▲5.9	▲3.9	▲6.9	▲0.6	▲1.4	▲13.1	24.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲2.6	▲0.3	▲30.3	10.3
出荷	101.6	111.0	107.0	102.0	89.1	89.7	94.3	80.1	94.1
前期(年)比	1.6	9.3	▲3.6	▲4.7	▲12.6	▲8.7	5.1	▲15.1	17.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲10.7	▲3.9	▲32.8	1.5
在庫	108.6	91.3	82.5	70.5	90.4	100.4	88.1	77.6	87.5
前期(年)比	▲3.4	▲15.9	▲9.6	▲14.5	28.2	52.1	▲12.3	▲11.9	12.8
前年同期比	—	—	—	—	—	58.8	29.3	▲4.0	28.2

汎用・生産用機械工業の推移（季節調整済指数）



(4) 電子部品・デバイス工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト364.0 生産19業種中12位）  
2020年の生産は210.6で、前年比35.1%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、音響部品（スピーカ・マイクロフォン）などが低下したが、  
トランジスタなどが上昇したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト245.6 出荷19業種中11位）  
2020年の出荷は252.0で、同49.2%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、音響部品（スピーカ・マイクロフォン）などが低下したが、  
トランジスタなどが上昇したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト155.7 在庫18業種中13位）  
2020年の在庫は136.0で、同93.5%減と4年ぶりの低下となった。  
これは、線形回路が上昇したが、  
トランジスタなどが低下したことによる。

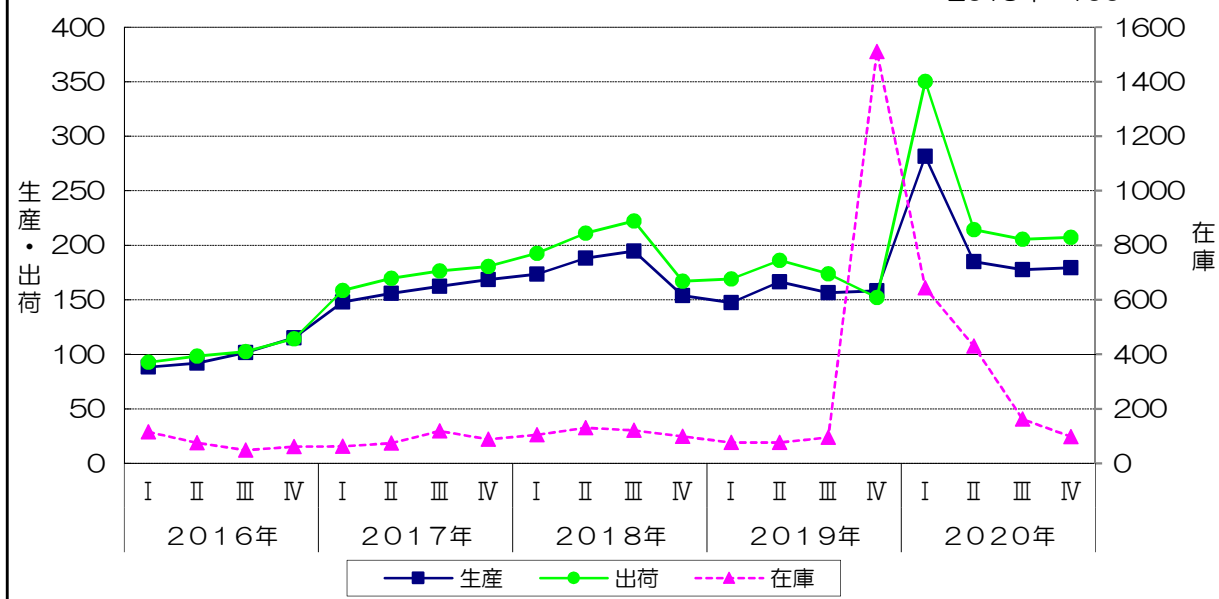
電子・デバイス工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	I	II	III	IV
	生産	99.6	158.4	176.7	155.9	210.6	281.4	185.0	177.6
前期(年)比	▲0.4	59.0	11.6	▲11.8	35.1	77.9	▲34.3	▲4.0	1.0
前年同期比	—	—	—	—	—	115.7	15.6	10.3	8.3
出荷	101.9	170.7	196.8	168.9	252.0	350.1	214.3	205.6	207.2
前期(年)比	1.9	67.5	15.3	▲14.2	49.2	130.2	▲38.8	▲4.1	0.8
前年同期比	—	—	—	—	—	144.3	19.5	15.0	24.3
在庫	67.3	96.8	98.7	208.5	136.0	643.8	429.4	161.8	97.2
前期(年)比	▲52.0	43.8	2.0	2013.3	▲93.5	▲57.4	▲33.3	▲62.3	▲39.9
前年同期比	—	—	—	—	—	832.5	379.2	55.3	▲93.5

電子部品・デバイス工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



(5) 輸送機械工業

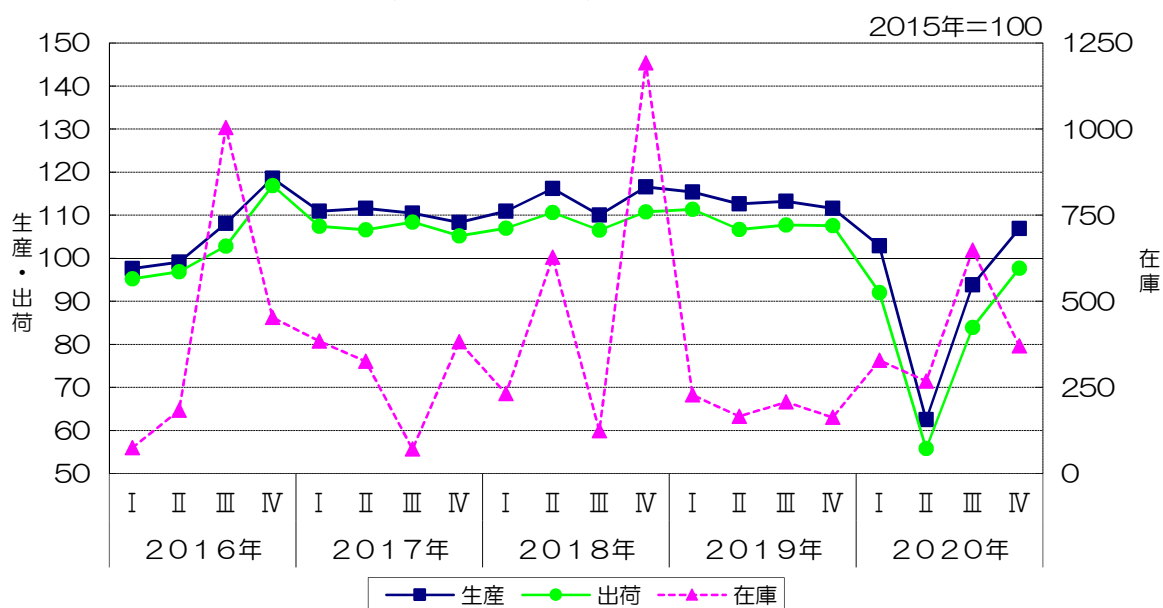
- ① 生産（付加価値額ウェイト2024.8 生産19業種中1位）  
2020年の生産は92.9で、前年比17.9%減と2年連続の低下となった。  
これは、鋼船修理、駆動伝導及び操縦装置部品などが上昇したが、  
四輪自動車などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト3996.2 出荷19業種中1位）  
2020年の出荷は84.0で、同22.5%減と2年連続の低下となった。  
これは、駆動伝導及び操縦装置部品、シャシー及び車体部品などが上昇したが、  
四輪自動車などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト289.4 在庫18業種中12位）  
2020年の在庫は433.4で、同86.7%増と2年ぶりの上昇となった。  
これは、バスが低下したが、  
四輪自動車などが上昇したことによる。

輸送機械工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年			
						I	II	III	IV
生産	106.0	110.2	113.6	113.2	92.9	102.9	62.5	93.8	106.9
前期(年)比	6.0	4.0	3.1	▲0.4	▲17.9	▲7.8	▲39.3	50.1	14.0
前年同期比	-	-	-	-	-	▲10.7	▲48.4	▲17.4	3.0
出荷	103.1	106.9	108.8	108.4	84.0	92.0	55.8	83.9	97.7
前期(年)比	3.1	3.7	1.8	▲0.4	▲22.5	▲14.5	▲39.3	50.4	16.4
前年同期比	-	-	-	-	-	▲16.2	▲52.8	▲22.9	▲0.4
在庫	379.0	310.4	1319.8	232.1	433.4	328.3	267.8	647.8	369.8
前期(年)比	251.3	▲18.1	325.2	▲82.4	86.7	101.2	▲18.4	141.9	▲42.9
前年同期比	-	-	-	-	-	54.6	47.4	283.2	86.7

輸送機械工業の推移（季節調整済指数）



(6) 窯業・土石製品工業

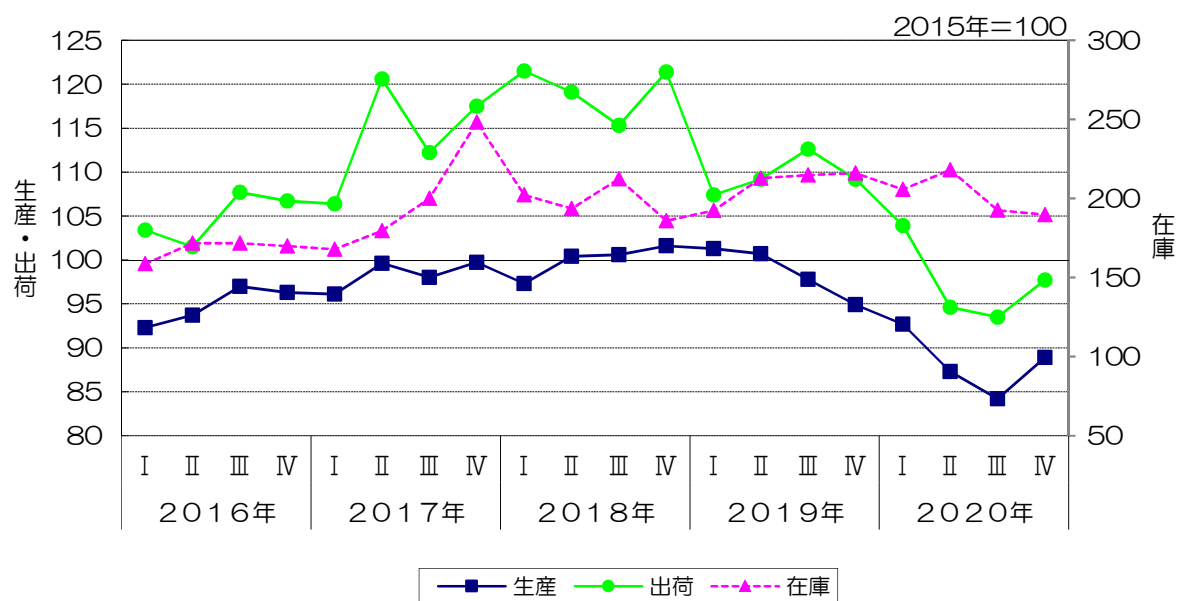
- ① 生産（付加価値額ウェイト593.0 生産19業種中7位）  
2020年の生産は88.7で、前年比9.9%減と2年連続の低下となった。  
これは、プレストレストコンクリート製品が上昇したが、耐火れんが、生コンクリートなどが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト359.9 出荷19業種中6位）  
2020年の出荷は98.1で、同10.6%減と2年連続の低下となった。  
これは、ガラス製容器類が上昇したが、耐火れんが、生コンクリートなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト605.4 在庫18業種中5位）  
2020年の在庫は187.3で、同13.4%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、セメントなどが上昇したが、耐火れんがなどが低下したことによる。

窯業・土石製品工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年			
						I	II	III	IV
生産	94.7	98.4	100.0	98.5	88.7	92.7	87.3	84.2	88.9
前期(年)比	▲5.3	3.9	1.6	▲1.5	▲9.9	▲2.3	▲5.8	▲3.6	5.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.5	▲13.7	▲15.3	▲5.6
出荷	104.9	114.1	119.4	109.7	98.1	103.9	94.6	93.5	97.7
前期(年)比	4.9	8.8	4.6	▲8.1	▲10.6	▲4.9	▲9.0	▲1.2	4.5
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.4	▲15.1	▲18.1	▲8.7
在庫	172.1	251.4	189.4	216.3	187.3	205.7	218.1	192.5	189.7
前期(年)比	66.3	46.1	▲24.7	14.2	▲13.4	▲4.8	6.0	▲11.7	▲1.5
前年同期比	—	—	—	—	—	4.8	5.2	▲10.5	▲13.4

窯業・土石製品工業の推移（季節調整済指数）



(7) 化学工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト728.8 生産19業種中5位）  
2020年の生産は99.5で、前年比10.0%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、医薬品などが上昇したが、ビスフェノールA、触媒などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト518.7 出荷19業種中5位）  
2020年の出荷は110.1で、同7.7%減と2年ぶりの低下となった。  
これは、ビスフェノールA、医薬品などが上昇したが、触媒、カーボンブラックなどが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト1240.4 在庫18業種中2位）  
2020年の在庫は74.5で、同23.3%減と2年連続の低下となった。  
これは、合成染料、ナフタリンなどが上昇したが、ビスフェノールA、ポリカーボネートなどが低下したことによる。

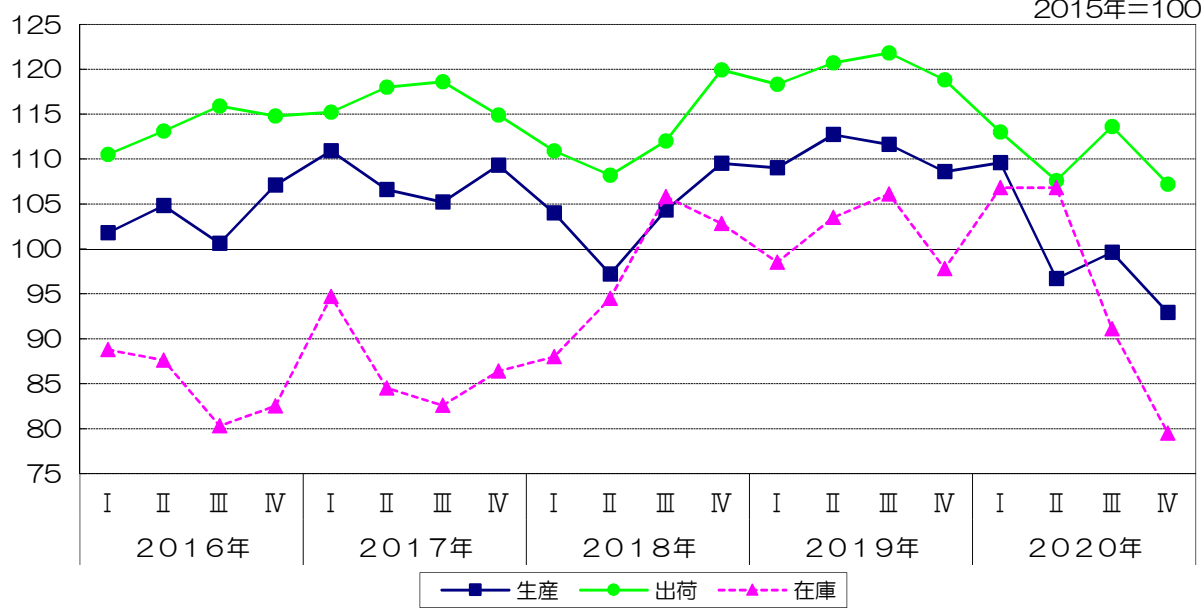
化学工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年			
						I	II	III	IV
生産	103.2	108.2	104.0	110.5	99.5	109.6	96.7	99.6	92.9
前期(年)比	3.2	4.8	▲3.9	6.3	▲10.0	0.9	▲11.8	3.0	▲6.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲0.8	▲15.2	▲10.9	▲13.1
出荷	113.7	116.5	112.8	119.3	110.1	113.0	107.6	113.6	107.2
前期(年)比	13.7	2.5	▲3.2	5.8	▲7.7	▲4.9	▲4.8	5.6	▲5.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲5.3	▲11.8	▲6.3	▲7.4
在庫	81.9	86.2	102.5	97.1	74.5	106.8	106.8	91.1	79.5
前期(年)比	▲20.9	5.3	18.9	▲5.3	▲23.3	9.2	0.0	▲14.7	▲12.7
前年同期比	—	—	—	—	—	7.5	6.8	▲13.8	▲23.3

化学工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100



(8) 食料品・たばこ工業

- ① 生産（付加価値額ウェイト1714.9 生産19業種中2位）  
2020年の生産は89.8で、前年比4.6%減と4年連続の低下となった。  
これは、麺類、枝肉などが上昇したが、  
ビール、弁当などが低下したことによる。
- ② 出荷（出荷額ウェイト1409.7 出荷19業種中2位）  
2020年の出荷は86.0で、同7.1%減と4年連続の低下となった。  
これは、麺類、枝肉などが上昇したが、  
ビール、弁当などが低下したことによる。
- ③ 在庫（在庫額ウェイト821.8 在庫18業種中3位）  
2020年の在庫は90.9で、同10.7%減と3年ぶりの低下となった。  
これは、その他の調味料、発泡酒（その他雑酒含む）などが上昇したが、  
焼酎などが低下したことによる。

食料品・たばこ工業の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

2015年=100

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2020年			
						I	II	III	IV
生産	102.4	99.5	97.4	94.1	89.8	92.2	89.7	89.2	87.2
前期(年)比	2.4	▲2.8	▲2.1	▲3.4	▲4.6	▲1.7	▲2.7	▲0.6	▲2.2
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.9	▲3.6	▲5.7	▲6.6
出荷	102.2	99.6	94.3	92.6	86.0	87.4	85.6	85.5	83.7
前期(年)比	2.2	▲2.5	▲5.3	▲1.8	▲7.1	▲4.7	▲2.1	▲0.1	▲2.1
前年同期比	-	-	-	-	-	▲3.6	▲9.1	▲6.6	▲8.6
在庫	95.8	89.2	99.7	101.8	90.9	102.2	94.7	97.6	95.2
前期(年)比	8.1	▲6.9	11.8	2.1	▲10.7	▲5.2	▲7.3	3.1	▲2.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲2.6	▲10.8	▲7.3	▲10.7

食料品・たばこ工業の推移（季節調整済指数）

2015年=100

